

令和 8 年 7 月吉日

糖尿病の有無による、持続性心房細動に対する

低電位領域アブレーションの有効性に関する研究成果が掲載されました。

持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療では、基本治療である肺静脈隔離に加えて、左心房の低電位領域を追加で治療する方法が行われることがあります。今回、多施設ランダム化比較試験である SUPPRESS-AF 試験 のサブ解析により、糖尿病の有無によって、この追加治療の有効性が異なる可能性が示されました。

【患者さん・社会への貢献のポイント】

本研究は、持続性心房細動に対して初回カテーテルアブレーション治療を受ける患者さん、特に肺静脈隔離後に左心房の低電位領域を認める患者さんに関わる内容です。糖尿病の有無によって追加治療の効果が異なる可能性を踏まえ、患者さんごとに適した治療戦略を選ぶことにつながります。将来的には、効果が期待できる患者さんには適切に追加治療を行い、効果が乏しい可能性のある患者さんでは不要な追加治療を避けることで、治療成績の向上、手技時間の短縮、合併症リスクの低減、患者さんの身体的負担の軽減に貢献することが期待されます。

【発表のポイント】

- 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療において、糖尿病の有無が追加治療の効果に影響する可能性が示されました。
- 糖尿病を合併していない患者さんでは、肺静脈隔離後に低電位領域アブレーションを追加することで、不整脈再発を減らす可能性が示されました。
- 一方で、糖尿病を合併する患者さんでは、低電位領域アブレーションを追加しても明らかな有効性は認められず、患者背景を踏まえた治療方針の選択の重要性が示されました。

【研究の背景】

心房細動アブレーションでは肺静脈隔離が基本治療ですが、持続性心房細動では再発する患者さんも少なくありません。そのため、左心房の線維化や傷みを反映するとされる低電位領域を追加で治療する方法が行われてきましたが、どのような患者さんに有効かは十分に分かっていませんでした。そこで本研究では、心房細動と関係の深い併存疾患である糖尿病に着目しました。

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂 2 丁目 1-14

TEL.06-6942-1331 FAX.06-6943-6467

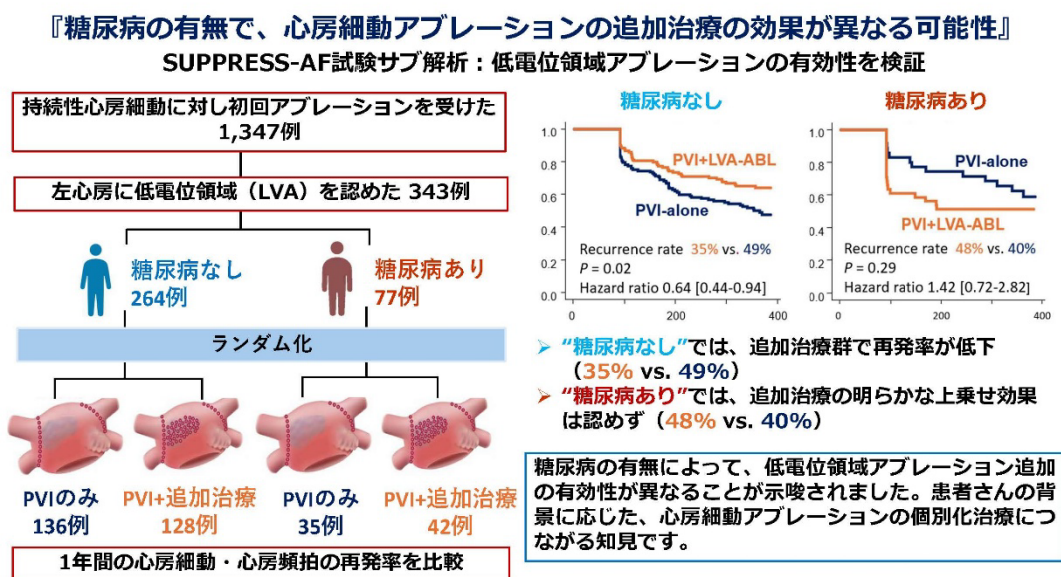
URL.<https://osaka.hosp.go.jp/>

【研究の手法】

本研究は、多施設ランダム化比較試験である SUPPRESS-AF 試験 のサブ解析です。持続性心房細動に対して初回アブレーションを受け、肺静脈隔離後に左心房の低電位領域を認めた患者さんを対象に、肺静脈隔離のみを行う群と、低電位領域アブレーションを追加する群を比較し、その効果が糖尿病の有無で異なるかを検証しました。

【研究の結果】

持続性心房細動患者 1347 例のうち、343 例に左心房の低電位領域を認めました。糖尿病を合併していない患者さんでは、低電位領域アブレーションの追加により心房細動・心房頻拍の再発率が低下しました。一方、糖尿病を合併している患者さんでは明らかな再発抑制効果は認められず、心房頻拍として再発する割合が高い可能性が示されました。



出典： Ozaki T, Inoue K, et al. J Am Heart Assoc. 2026;15:e047450. DOI: 10.1161/JAHA.125.047450

【今後の展開】

本研究は、心房細動アブレーションを「全員に同じ治療」ではなく、患者さんの背景に応じた個別化治療へ進めるための知見です。今後は、糖尿病の重症度や血糖管理状況、左心房の線維化の程度などを含めて、追加治療が有効な患者さんをより明確にしていける必要があります。将来的には、より安全で効果的な心房細動治療の選択につながることを期待されます。

【筆頭著者コメント】

尾崎立尚

持続性心房細動に対するアブレーションでは、すべての患者さんに一律に追加治療を行えばよいわけではありません。今回の研究から、糖尿病の有無等、患者さん一人ひとりの背景を踏まえて治療方針を考えることの重要性が示されました。本研究は、多施設ランダム化研究を基盤とした質の高い臨床データを用いて、糖尿病という身近な併存疾患が追加アブレーションの効果に影響する可能性を示したものであり、日常診療に直結する知見だと考えています。本研究にご協力いただいたすべての患者様に、心より感謝申し上げます。

【論文情報】

掲載誌：Journal of the American Heart Association

論文タイトル：Impact of Diabetes on the Efficacy of Low-Voltage Area Ablation for Persistent Atrial Fibrillation: A Subanalysis of the SUPPRESS-AF Trial

DOI：10.1161/JAHA.125.047450

掲載年：06/15/2026

【用語解説】

心房細動…心臓の上の部屋である心房が不規則に震える不整脈です。動悸、息切れ、疲れやすさの原因となるほか、脳梗塞や心不全のリスクにも関係します。

低電位領域…心臓内の電気信号が弱く記録される領域です。心房筋の線維化や傷みを反映している可能性があり、心房細動の維持や再発に関係すると考えられています。

低電位領域アブレーション…肺静脈隔離に加えて、左心房内の低電位領域を追加で治療する方法です。持続性心房細動の再発抑制を目的に行われることがあります。

【研究内容に関するお問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 循環器内科 尾崎立尚

TEL：06-6942-1331

E-mail：ozaki.tatsuhisa.gh@mail.hosp.go.jp



独立行政法人
国立病院機構

大阪医療センター

NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION OSAKA NATIONAL HOSPITAL

【取材に関するお問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 広報企画室

TEL：06-6942-1331

E-mail：onh_pr@kamibu.co.jp

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目 1-14

TEL.06-6942-1331 FAX.06-6943-6467

URL.<https://osaka.hosp.go.jp/>